

(別紙4(2))

事業所名 グループハウス愛

作成日: 平成 27年 8月 27日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | |
|----------|----|--|--------------------|---|
| 優先順位 | | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 現状では、地域との日常的な交流はない。傾聴ボランティアも昨年来「休止中」。話し相手やハウス内外の清掃。洗濯物干し・取り込み・たたみなどを「入居者・職員」と共に、作業できる地域住民ボランティアを確保したい。 | ボランティアの確保 | 運営推進会議での提案～地域代表委員の協力を得る。 6ヶ月 |
| 2 | 12 | 退職した職員の補充ができていないため、現職員の加重勤務がある。「安全・安楽・安心」なサービス提供のための「余裕ある人員配置」が必要となっている。 | 職員の確保 | 職員募集広告(の継続(ここ数ヶ月実施しているが応募・定着状況はよくない。)) 3ヶ月 |
| 3 | 23 | 職員数に余裕が無いため、より細やかな対応ができていない。 | 人材の確保、現有職員のスキルアップ。 | 施設間交流の促進、研修への参加、処遇改善を通じて安定した就労環境の創出・ 9ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。